

市民活動はじめの一步ワークショップ企画案

～「やってみたい」をカタチにしてみませんか～

市民参加部会 南山

<現状と課題>

- ・単発のイベントで市民活動サポートセンターに人を集めることはできた
- ・イベントを通じてセンターに始めて来た人もいたが、その後につながっていない
- ・センターの利用者の平均年齢が高い
- ・市民活動をすでにしている人のためのサービスが多く、これから始めたい人をキャッチできていない

→イベントでサポートセンターに足を運ぶ人が増えても、市民活動の活性化につながる次のアクションが起こせていない

<解決策>

- ・これまで市民活動をしていない人が「はじめの一步」を踏み出すことを後押しする連続講座を開催する

<目的>

- ・「自分にできること、やってみたいことを持ち寄ってみる」「自分たちの暮らしをもっとステキに楽しくすることとして市民活動を身近に感じてもらう
 - ・「自分にもできそう」「やってみよう」と思ってもらう
- ※堅苦しい言葉はなるべく使わず、若い世代が「自分たちの暮らしをよりよくするための自分ごと」「自分たちが楽しんで取り組める身近なこと」と思えるようなWSを目指す

<具体的な内容>

- ・ターゲット：身近な地域で何かやってみたいと思っている 30～40 代の市民

・内容

★市民活動はじめの一步ワークショップ

- ① ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう！
内容：実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く
講師(案)：船橋パパ会代表 高橋利明氏
- ② 地域でつながる活動の始め方
内容：
講師(案)：和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授)
- ③ みんなの「はじめてみたい」発表会

内容：①②の内容を踏まえて、参加者の「船橋でこんなことをしてみたい！」をそれぞれ発表してもらおう。発表者同士のフィードバックの時間も多く取り、企画を深めたり仲間づくりのきっかけを作ったりする機会にする。

・場所：市民活動サポートセンターまたは市内の公民館など

<スケジュール>

12-1月 企画立案、講師依頼
2月 詳細検討、広報物作成
3/15 広報ふなばしで告知、参加者募集
5月 WS①
6月 WS②
7月 WS③

<費用>

- ・講師謝礼(交通費?)
- ・チラシ、ポスター印刷
- ・筆記具
- ・模造紙
- ・付箋